

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		東京藝術大学との連携				所管	文化産業観光部 文化振興課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	66	計画事業名	東京藝術大学との地域連携事業の推進			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] I-3. 文化が息づく豊かな生活の創出 [小 柱] (4)文化に親しむ環境づくり [施 策] ①文化に触れる機会の充実				[事業開始]	平成 20 年度			
	根拠法令等	その他		[法令等名]	東京都台東区と国立大学法人東京藝術大学との連携に関する協定書					
	事業対象	直接の対象 : 東京藝術大学及び区民をはじめ、広く一般 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	東京藝術大学の有する芸術・文化に関する高度な知見を活用し連携事業を展開することで、地域社会の芸術、文化、教育、まちづくり、産業等の広範な分野での振興を図る。								
	事業内容 [29年度]	台東区・東京藝術大学連携協議会を開催し、連携事業の推進を図る。 平成22年度から平成24年度に実施したGTS観光アートプロジェクト作品を管理する。 また、GTS観光アートを巡るフォトラリーやワークショップを実施して、GTS観光アートをPRするとともに、区民が芸術・文化に触れる機会を提供する。								
	委託の有無	一部委託		委託内容	GTS作品の清掃及び保守点検委託。PRイベント参加記念品の制作委託。ワークショップ実施委託。GTSパネル展委託。					
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種 別	指標の名称		単位	31年度	27年度	28年度	29年度		
	活動指標	GTS観光アートラインPR事業		回	—	3	3	3	3	100.0%
		台東区・東京藝術大学連携協議会開催		回	1	1	1	1	—	—
	成果指標	GTS観光アートラインPR事業参加者数		人	—	1,171	494	667	1,000	66.7%
		連携事業数		件	40	37	37	44	—	—
	決算額 (単位:千円)					27年度		28年度		29年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト (人件費など)				3,146		3,324		3,444
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)				3,208		7,134		6,285
		その他のコスト (扶助費・補助費など)				3,147		3,324		3,444
		総経費				0		0		0
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)				6,355		10,458		9,729	
	その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)				0		0		0	
	一般財源 (区負担額)				6,355		10,458		9,729	
前回評価から29年度に改善した事項	なし									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	地域社会の芸術、文化、教育、まちづくり、産業の振興を図っていくためには、芸術・文化に関する高度な知見を有する東京藝術大学と区が連携していくことが必要である。							
	効率性	3	区と東京藝術大学とが芸術・文化に関わる幅広い活動について協議する場である連携協議会を開催することで、効率的に区政の様々な分野の振興を図ることができる。							
	手段の適切性	3	区の様々な分野での芸術・文化の振興を図るため、各所管課で実施している文化事業及び東京藝術大学との連携事業を集約し、連携協議会で協議するなど、東京藝術大学の芸術・文化に関する高度な知見を活用することは効果的である。							
目的達成度	2	GTS観光アートラインPR事業であるフォトラリーを5年間継続して実施してきたことで、より広く一般にPRすることが出来、多くの方に認知され、浸透してきたため、参加者数は徐々に減少している。墨田区、東京藝術大学と協議をした結果、フォトラリーについては終了することとした。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
25年度の東京スカイツリー開業に合わせ、GTS観光アートラインのPR事業として、フォトラリーとワークショップを5年間継続して実施したことで一定の周知ができたため、今後は見直しを行っていく。その他の連携事業については、連携協議会の場を有効活用し、旧奏楽堂リニューアルオープン、区長賞記念演奏会、障害者アーツ、オリパラ関連事業等で、藝大の有する芸術・文化に関する高度な知見を活かし、推進していく。						改善		拡大改善 維持 縮小 廃止・終了		